



政府統計

報道関係者 各位

令和2年5月13日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 佐藤 恵治
室長補佐 佐々木 和之 (内線 7473)
室長補佐 柏木 貴久子 (内線 7494)
(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)
(代表電話) 03(5253) 1111
(直通電話) 03(3595) 2321

第9回「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を公表します

厚生労働省では、このたび、同じ集団を対象に毎年実施している「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の第9回（令和元年）の結果を取りまとめましたので、公表します。

21世紀出生児縦断調査は、21世紀の初年である平成13年に出生した子を継続的に観察している調査と平成22年に出生した子の比較対照等を行うことにより、少子化対策などの施策のための基礎資料を得ることを目的としています。

調査時点での子どもの年齢は、9歳（小学3年生）です。

【調査結果のポイント】

1 母の就業状況の変化

- ・母が有職の割合は第9回調査（小学3年生）で75.0%となり、平成13年出生児（第9回）の63.8%に比べて11.2ポイント高い（3頁 図1）
- ・出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第9回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では37.5%で、平成13年出生児の26.6%に比べて10.9ポイント高い（4頁 図2）

2 子どもの生活の状況

(1) 放課後に過ごす場所

放課後に過ごす場所は、「学童保育」の割合は26.3%と、平成13年出生児（第9回）の14.0%に比べて12.3ポイント高い（5頁 図3）

(2) 習い事等

「習い事等をしている」割合は87.7%で、学年が上がるにつれて上昇（6頁 図5）

(3) 母と一緒に過ごしている時間

母と一緒に過ごしている時間は、平日の最も長い時間帯の「6時間以上」は26.1%、休日の最も長い時間帯の「10時間以上」は65.9%となっており、学年が上がるにつれて低下（7頁 図7）

3 父母の喫煙状況

- 母・父がたばこを「吸っている」割合は、平成13年出生児（第9回）と比べて低い（8頁 図9）
- | | | | | | |
|-----|----------|-------|---|----------|-------|
| （母） | 平成13年出生児 | 14.4% | → | 平成22年出生児 | 7.2% |
| （父） | 平成13年出生児 | 44.7% | → | 平成22年出生児 | 34.0% |

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。